

令和5年度

河北町教育委員会事務事業点検及び評価報告書  
(令和4年度分)

河北町教育委員会

(令和5年9月)

# 目 次

I	教育委員会事務事業の点検及び評価について	1
1	制度の概要及び目的	1
2	点検及び評価の対象事業	1
3	点検及び評価の方法	1
4	学識経験者の知見の活用	2
II	教育委員会の活動状況	2
1	総合教育会議の開催	2
2	教育委員会会議の開催	2
3	教育委員会会議以外の活動	3
4	教育委員の報酬	3
III	施策の体系	4
IV	教育事務評価委員の意見	5
V	点検及び評価対象事業一覧	13
	<b>【点検及び評価の結果（事務事業点検及び評価調書）】</b>	<b>15</b>

# I 教育委員会事務事業の点検及び評価について

## 1 制度の概要及び目的

教育委員会の点検及び評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律を受け、河北町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民に対する説明責任を果たすため、前年度に行った事務事業について、3名の教育事務評価委員の方々の意見をいただきながら点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

**第26条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検及び評価の対象事業

点検及び評価は、令和4年度に実施した教育委員会所管の事業のうち、教育振興計画との関連に視点を置き、事業費の額及び町民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な事業を対象に実施しました。

## 3 点検及び評価の方法

各事業について「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検及び評価調書」としてまとめています。

#### 4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検及び評価についてその客観性を確保するため、令和5年6月29日に3名の学識経験者を教育事務評価委員として委嘱し、点検及び評価の内容について意見をいただきました。

##### 河北町教育事務評価委員

氏名	役職名等
砂田 哲	学識経験者
小野 俊雄	学識経験者
井上 和幸	学識経験者

## II 教育委員会の活動状況

### 1 総合教育会議の開催

開催日	協議件名
12月22日	河北町立小学校のあり方について 外1件
3月23日	河北町立小学校のあり方について

### 2 教育委員会会議の開催

#### (1) 会議

- ・委員会 13回
- ・議案 28件
- ・報告 7件

開催日	区分	議案協議件名
4月27日	議案	令和4年度 河北町教育委員会事務局職員の異動承認について
5月25日	報告	西村山地方開発重要事業要望（教育庁関係）について
	議案	令和4年度 河北町教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価を実施する学識経験者の委嘱について
6月22日	議案	令和4年度 準要保護児童生徒の追加認定について
7月21日	議案	令和4年度（令和4年7月1日付）河北町教育委員会事務局職員の異動承認について 外2件
8月25日	議案	河北町教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正する規則の制定について
9月29日	議案	令和4年度 準要保護児童生徒の認定取消について 外1件

開催日	区分	議案協議件名
10月28日	議案	令和4年度 準要保護児童生徒の追加認定について
11月28日	議案	河北町人材育成奨学金受給者の認定について 外1件
12月22日	報告	河北町山形県立谷地高等学校後援会支援事業費補助金交付規程の一部を改正する規程の制定について 外3件
	議案	河北町学校給食における食物アレルギー対応実施要綱の一部を改正する要綱の制定について 外5件
1月26日	報告	「学校給食費徴収に関する規則」改正の方向性について
2月22日	報告	学校給食費の無償化に伴う保護者負担金の取り扱いについて
	議案	令和5年度 新入学児童生徒学用品費支給認定について
3月8日	議案	令和5年度 河北町立小中学校教職員人事異動内申について 外1件
3月23日	議案	令和5年度 要保護及び準要保護児童生徒の認定について 外6件

### 3 教育委員会会議以外の活動

#### (1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
6月2日	河北中学校	10月19日	谷地南部小学校
6月24日	溝延小学校	10月26日	西里小学校
7月1日	谷地中部小学校	11月16日	谷地西部小学校
7月20日	北谷地小学校		

#### (2) その他会議・式典参加等

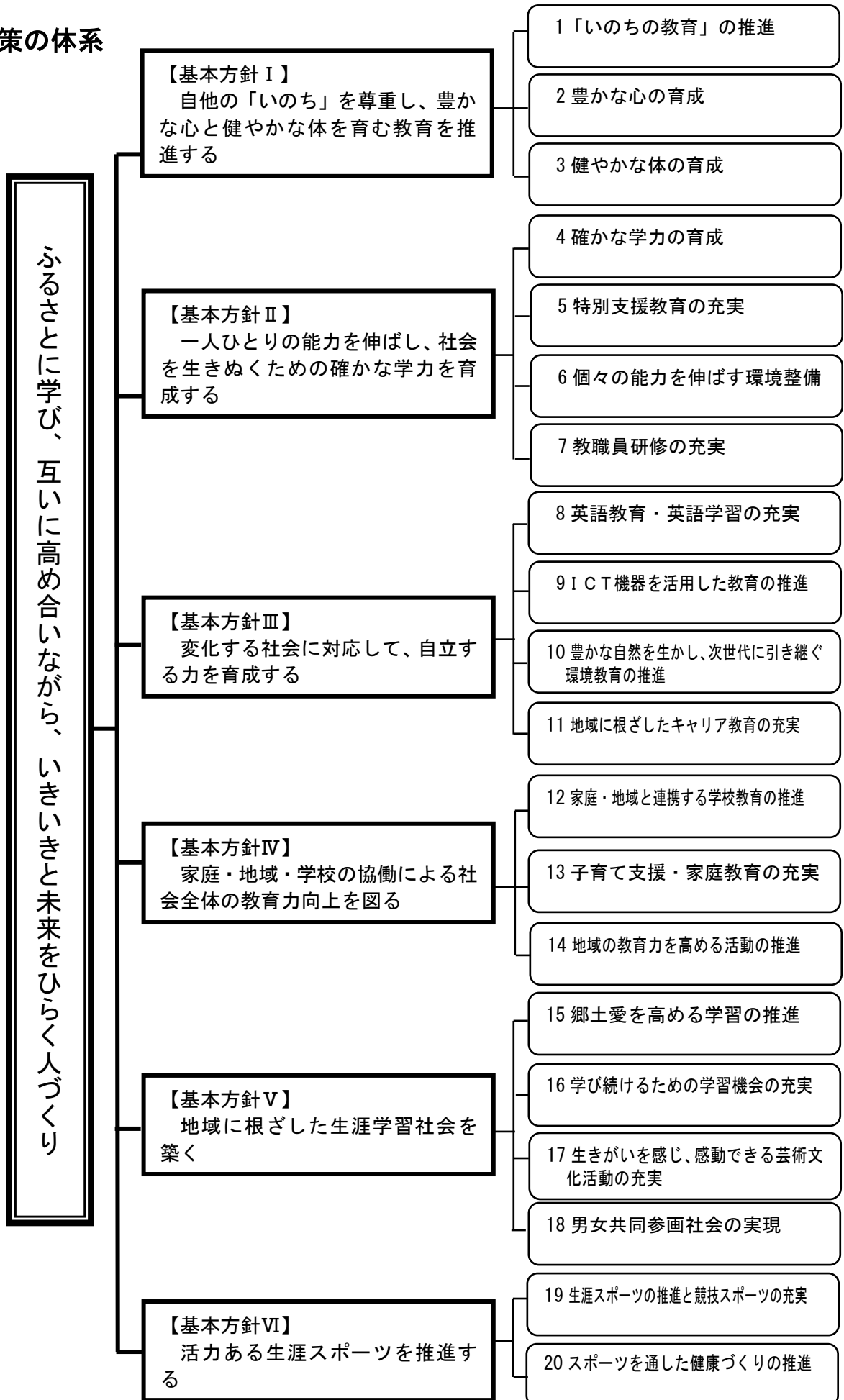
会議：山形県市町村教育委員会協議会定期総会

西村山市町教育委員会連絡協議会総会・教育委員研修会

### 4 教育委員の報酬

(年) 243,000円

### III 施策の体系



#### IV 教育事務評価委員の意見

- 河北町の学校教育は、住民の教育に対する熱い思いに支えられ、現代の教育課題に対応しながら、特色ある学校づくりを展開することにより、子どもたちは落ち着いて学習に取り組んでおり、成果が上がっていると感じます。
- G I G Aスクール構想の整備がなされ、タブレットなどを活用した教育が進められていることは素晴らしいと感じます。ただ、実物を自分の五感で感じ取ることや、人と人の関わりを対面で行うことの大事さを大切にしていきたいと思います。
- コミュニティスクールも進められていますが、先生方が地域コーディネーターと一緒に地域と関わりを持ち、地域の人材を活用した学習を通して、子どもたちの地域を愛する心を養い、将来の河北町を担う子どもたちを育成していただきたいと思います。そのことが信頼される学校づくりになるのではないかと思います。
- 最近の教育の大きな課題のひとつに、発達障がいの子どもの増加があります。子どもの実態は様々なので、その子どもに応じた指導ができる学習・生活指導補助員を配置する必要があります。各学校が必要とする補助員の質と数を充実していかなければならないと考えます。

また、いじめ、不登校も大きな社会問題になっています。スクールカウンセラーを継続配置して、教育相談体制の充実を図るとともに、教師と子どもの関係、子ども同士の間を密にし、「生きる力の教育」や「いのちの教育」の充実を図る必要があります。
- 「かほく町民大学ひなカレッジ」は質の高い活動を運営されていると思います。実行委員の皆さんに敬意を表するとともに、長く継続されることを期待します。そのためには、適切な行政の支援を続けていただきたいと思います。特にそれぞれの講座が、実行委員会主催で住民主体となって進められていることは、誰もがいつでも学べるというまさに生涯学習そのものであると思います。
- 地区公民館の利用者数も多く、地域活動の拠点になっています。今まで同様公民館として機能できるように維持、運営していただきたいと思います。
- 中学生の「ピエロちび」に9人の加入があったことは将来の河北町を担う若者が育っていると捉えられ、素晴らしいと思います。ぜひ、高校生になっても河北町の地域を考えた活動を続けるように導いていただきたいと思います。
- 子どもたち同士のかかわりが薄くなっている現状があります。「子どもの居場所づくり事業」を単に居場所づくりだけでなく、コミュニケーションの場にしていくという考え方が必要なのではないかと思います。学校から帰ってから自由に遊べるような場を提供して、多くの子どもたちが関われるようにしていくことが大事であると考えます。
- 人口減少に伴って、町内会単位で参加するスポーツ大会への参加が困難な状況になっています。お互い関わりあって、助け合いながら住みよい地域をどう作っていくのかを、早急に検討していく必要があるのではないかと思います。

## 1 地域と共にある高校教育への支援

山形県立谷地高等学校は、町唯一の高等学校であり、地域密着型の学校づくりを目指しています。近隣地区の区長とPTA役員と生徒会役員との懇談会の開催や、谷地高祭の開催の折には、案内状や生徒会が運営する売店の割引券などが近隣地区に配布されております。また、カヌー部は、毎年と言っていいほど全国高等学校総合体育大会（インターハイ）における優勝や、国民スポーツ大会の山形県の得点源になっているなど、町民に元気と勇気、感動と希望を与えています。ボランティアでは、一人暮らし高齢者宅の除雪作業を実施しています。後援会が行う教育活動に対する補助金の交付、通学バス運行経費等の支援は、地域に密着した学校づくりに大いに寄与しているものと思われます。今後も谷地高等学校への支援と連携強化を図っていくことが重要です。

## 2 教育相談の充実

スクールカウンセラーや教育相談員、指導員等の配置により、学校におけるカウンセリング機能の向上や、別室、適応指導教室での児童生徒への支援、家庭訪問の実施等、別室登校や普通学級復帰へ繋げたことは、大きな成果であったと思います。

小学校が小規模化してクラス替えができない中、子どもの人間関係が固定化し、不安を抱えている子どもが増えていくことが考えられます。スクールカウンセラーや教育相談員の対応が重要なので、今後も継続して取り組んでほしいです。

## 3 健康・安全教育の推進

いじめ問題対策として、学校・家庭・地域におけるいじめ防止の取り組みについては、いじめ問題対策連絡協議会を開催できたことは、大変意味のあることだと思っております。また、児童生徒の登下校時も含めた安全確保等は、家庭、学校、地域、関係機関、団体等が連携・協力し合って成り立っているものであります。施設の安全面や、交通安全、防犯等も含め、児童生徒の安全確保に全力で取り組み、安全・安心な学校運営を図っていくことが重要であると思っております。

毎年不審者が出て、子どもたちが不安な思いをする事例があります。子どもの数が減り、一人で下校せざるを得ない子どもの数が増えていることも考えられるため、各学校で見守り活動を継続できるようにするとともに、学校と地域が協力できる体制を充実できるように取り組んでほしいです。

## 4 教育環境の整備

将来にわたり、児童生徒にとってICT機器はなくてはならないものです。ICT支援員による、教職員及び児童生徒へのICT機器、学習支援ソフト等の活用促進を図ったこと、「GIGAスクール構想」の実現に向けた学習環境の整備を図ったことは、大変良かったと思います。引き続き、教育環境の整備充実に期待します。

タブレット端末やアプリケーションソフトは日進月歩の進化があり、数年で更新の必要性があります。町単独予算で対応するには、計画的に準備し、財政当局の理解を得ることが重要です。整った環境で子どもたちのリテラシーが向上できるよう対応してほしいです。また、いろいろな学習内容に取り組んでいく必要があり、働き方改革



を進める上で負担になることも考えられますが、外部人材等を活用しながらプログラミング教育等新しい教育活動に積極的に取り組んでほしいです。

## 5 英語教育の強化

世界の共通語は英語であるという認識のもと、将来を背負って立つ児童生徒に、英語の必要性、重要性を再認識させ、英語指導を更に充実させてほしいと思います。

英語指導支援員の配置、外国語活動サポート、小中学校の連携、外国語活動推進事業で、英語の普及活動に繋げることが出来たことは、大いに評価したいです。今後も、引き続き事業を継続してほしいです。

外国語を使えるようになるには、日常的に外国語に親しめる環境づくりが重要なのでALTや英語指導支援員など人的配置を継続してほしいです。また、就学後の活動だけでなく、幼児対象の英語教育も非常に意義のあることであり、今後も取り組んでほしいです。

## 6 教育の質の向上

「地域交流学習活動」の事業は、地域の人や地域の歴史文化に関わる学習で、本当に意味のある学習だと思っております。古い時代の良い素材を活用して、様々な事業を展開してほしいです。

コミュニティスクールを継続し、学校運営協議会を中心に地域とともに作り上げることはとても重要です。地域コーディネーターを継続して配置し、特色ある教育活動ができるよう継続してほしいです。

## 7 特別支援教育の充実

各発達段階に応じた、支援計画のあり方等については、幼稚園や認定こども園と保護者が連携を密にし、今後も進めていく必要があると思います。また、学習・生活指導補助員の継続配置と研修を実施したことは、大変良かったと思います。

1クラスの子どもの数が減っているものの、個別の配慮が必要な子どもの数は増えています。一人ひとりの子どもが持つ可能性を高めながら能力を発揮できるようにするために人的配置を継続してほしいです。また、就学前に情報を共有し適切な指導ができるように、幼児教育施設との連携をさらに充実してほしいです。

## 8 キャリア教育の推進

新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、職業講話、職業体験学習、修学旅行時に職場を訪問出来たことは、生徒にとって貴重な体験であり、自分の親の仕事への理解と感謝そして、親子の信頼と絆も益々深まるものと思われまます。

中学校で各学年の発達段階に応じてキャリア教育を推進できたことは良かったです。「地域交流学習活動」事業等とも連携しながら、地域の中で様々な活動を行っている方々に学ぶ活動を小学校段階から取り組んでほしいです。

## 9 健やかな体の育成

通常の栄養指導に加えて、校内放送を利用するなど、工夫して食に関する指導を実施したことは大いに評価したいと思います。

地元産食材への理解と関心を深めるため、地元生産者との交流給食会を開催したことは、大変有意義であったと思います。健やかな体の育成には、引き続き、地元産食材の積極的な活用と、食の安全確保のため、各種食材検査を実施し、備品等を逐次更新していただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で、親子給食、バイキング・オードブル給食等を中止せざるを得なかったのは残念です。学校給食は食の重要性を学ぶとともに、コミュニケーションを図るうえで重要な役割を果たしています。さらに、学校体育や学校保健についての評価も実施することによって健やかな体の育成の評価がよりすばらしいものになるのではないかと思います。

#### 10 農村環境改善施設事業

各施設共に利用人数等は、前年度より増加傾向になったのは良かったと思います。しかし、コロナ前の平年並みにはもう少し時間がかかりそうです。

3施設共に、老朽化が進んでおり、利用者の安全に配慮し、施設の修繕、工事等を積極的に実施したことは、大いに評価したいと思います。引き続き、利用者の安全確保と利用促進、そして施設の維持管理に努め、更なる町民サービスの向上に努めてほしいと思います。

#### 11 社会教育総務事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、社会教育委員・社会教育推進委員・青少年育成推進員、関係団体等の協力を得てさまざまな事業を展開したことは、大いに評価したいと思います。特に、はたちのつどいを実行委員会と事務局が連携し、次世代を担う青年リーダーの育成に取り組んだことは、大いに評価したいと思います。新型コロナウイルス感染症で実施できなかったイベントもありましたが、オンラインで行うなど工夫して取り組んだのは良かったと思います。

#### 12 学校・家庭・地域の連携協働推進事業

地域学校協働活動は、統括コーディネーターと地域コーディネーターが連携し、充実した学校・家庭・地域の連携・協働を図ることができたことは、素晴らしい成果であったと思います。

子どもの居場所づくり事業は、いろいろな講座を準備するにあたり、講師の方々と交渉し、準備してくださったのはありがたいです。今後も充実した内容で継続してほしいと思います。

#### 13 公民館事業

かほく町民大学ひなカレッジは、これまでも、実行委員主体の運営で、すばらしい事業を展開していただきました。実行委員の方々の御苦勞に感謝申し上げます。

自治公民館の総会及び大会が、新型コロナウイルス感染症予防対策で書面開催、そして、視察研修が中止になったのは、非常に残念であります。

今後も町民の学習意欲に寄与できるように、様々な講座を用意する等、多彩な公民館活動を展開してほしいと思います。

#### 14 地区公民館事業

学習講座、その他の講座等の開催においても、感染症予防対策を図り、館長、管理人、担当職員、各種団体、地域、学校等の協力を得ながら開催可能な事業に取り組んだことは、大いに評価したいと思います。各地区公民館の「文化教室」「大昭大学」「文芸学級」等も充実した活動がなされていて、文化のまち「かほく」であることを強く感じます。

事務局担当者自身が、参加して楽しいと思えるような事業を企画立案すれば、その事業に賛同してくれる参加者が必ず現れます。昨年度より参加人数が少ないとか、利用者が少なくなったとか言う方がおりますが、参加して楽しかったと言ってもらえれば、その事業は一定の成果があったということであります。参加者一人ひとりを尊重することが大事だと思います。

学習講座は、物づくりだけではなく、それぞれの地区の講師との、触れ合いづくりや地域の伝統を子どもたちに学んでもらういい機会であると思います。今後も、充実した講座に期待するとともに、将来の講師の育成を図っていく必要があると思います。

#### 15 図書館事業

図書館の運営については、新規事業として、町内こども園に移動図書館巡回、3センターで大型活字本の配本と予約貸出を実施したことは、大変良かったと思います。また、移動図書館車が新しくなることは、車に入りたい、本を選んでみたいという気持ちを高める上でもいいことと考えます。

図書館後援会の趣旨に賛同していただける方が増えてくれることを期待しております。

#### 16 文化財事業

無形文化財の保護について、既存収録ビデオの編集は必要不可欠で、歴史を後世に残すことは大事であり、大変良かったと思います。

山形ふるさと塾伝承活動への助成や、日本遺産関連事業の推進については、継続してほしいと思います。

河北町の歴史講座は、毎年様々なテーマのもと、河北町のことを知るいい機会になっており、今後とも継続してほしいです。また、「かほく風土記」を発刊できたことは、自分の住んでいる地域に目を向け、認識を新たにする上でとても良かったと思います。一方、文化財を保存しておく場所については、いい状態で保存できるような場所を検討してほしいです。

#### 17 サハトベに花管理事業

施設の維持管理については、それぞれの工事等で利用者の安全確保や利用促進に努めたことは大いに評価したいと思います。今後も引き続き、振興公社と連携を密にし、利用者の安全確保と利用促進に努めてほしいと思います。

また、ワクチン接種の待機時間を活用した河北美術クラブ展の開催、プラネタリウム新番組のリース導入等は大いに評価したいと思います。今後は、コロナが教えてくれた教訓を、待機時間の有効活用等を含め、他の事業等でも活用してみたいかでしょうか。

サハトベに花は開館から30年以上たっているということで、様々な対応が必要になっていると思います。計画的に対応し、今後とも様々な事業ができるようにしてほしいです。

#### 18 サハトベに花文化事業

NHKのど自慢は、全国放送だったので、河北町を全国にPRできたすばらしい事業だったと思います。

また、町民の方々にとって、堀米ゆず子さんのミニコンサート、宝くじまちの音楽会を鑑賞できたことは、大変幸せなひと時だったと思います。

プラネタリウム・天文講座は、べに花の里振興公社と共催できたことは、大いに評価したいと思います。今後とも様々なイベントを行い、町民の要望に応えられるようにしてほしいです。

#### 19 芸術文化振興事業

サハトベに花展示室を利用して、町内の各芸術文化団体等の協力を得ながら、共催事業や自主事業を開催できたことは、出展者も大いに喜んでくれたのではないのでしょうか。

べに花の里俳句大会で谷地高校の部を設けたことは、大いに評価でき、今後の高校生の俳句が楽しみです。

文化祭の開催については、発表会を楽しみにしている出展者、参加者等が大勢いると思われまので、ぜひ今後も充実した事業展開を期待します。

自主事業としてあめ細工職人槇登展を開催できたことはとても良かったです。町にはそれぞれの道を歩んで功績を残した人物が多数おり、そのような方々を紹介したり、町の歴史や伝統を紹介したりするような事業を展開してほしいと思います。

#### 20 女性・青少年センター事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用人数は低調しています。今後も、適切な施設の維持管理及び利用者の安全確保と利用促進に努めていただきたいと思います。青年層の活動の活性化という目的達成のため、青年団・青年会議所だけでなく青年層の各種団体と連携しながら、施設の有効活用を図ってほしいです。

#### 21 交流館遊蔵事業

常設展示の内容を少しずつ変えたり、タッチパネルのパソコンの内容を更新したことにより、利用者の興味をそそったのではないのでしょうか。小学生の学習内容に役立つよう、昭和時代の道具等も収集し展示できるようにしてほしいと思います。今後の郷土資料館の更なる充実と屋内運動場の大盛況を期待します。

#### 22 保健体育総務事業

河北町スポーツ協会の表彰該当者が、前年度より増加したのは、喜ばしい限りであり、カヌー競技の選手が該当者数をキープしていることに対しまして、敬意を表したいと思います。スポーツは、町民に元気と勇気、感動と希望を与えてくれます。是非、選手の皆さんには、更なる活躍を期待いたします。

河北スポーツクラブについて、その存続には町からの補助が不可欠であります。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、開催数が前年度より増加したことは大変良かったと思います。このクラブは今話題になっている中学校の部活動の在り方とどう関わっていくか、また、さまざまな教室を通した町民の健康づくりへの適切な寄与についてが課題だと思われます。今後も町民の希望に沿った運営を継続してほしいです。

スポーツに関する情報提供として、コロナ禍の状況下、事務局が積極的に河北スポーツだよりの全戸配布等を行ったことにより、町民一人ひとりの心に安心感やスポーツの必要性・重要性というものが届けられたのは良かったと思います。

## 23 体育指導・教室事業

河北町区対抗総合スポーツ交流大会は、河北町スポーツ推進委員の運営補助で成り立っているといっても過言ではありません。今後も、素晴らしい運営に期待します。また、山形県スポーツ推進委員西村山ブロック研究大会に、Zoomを利用したオンライン方式で参加出来たことは、大いに評価したいと思います。

スポーツ少年団活動は、青少年の健全育成を目的としており、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底することで、活発な活動が出来たことは、大変喜ばしいことでもあります。今後も、勝利至上主義に走らないように、青少年の健全育成に努めていく必要があると思われます。

スポーツ少年団の育成や中学校の部活動の外部指導者の関係を考える上でスポーツ推進委員が果たす役割は大きなものがあると考えます。今後ともその役割を果たせるよう体制の整備を推進してほしいと思います。

## 24 各種大会開催事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、河北町区対抗総合スポーツ交流大会（区対抗スポーツ大会）の3種目中2種目は開催できなかったのは残念でしたが、区対抗スポーツ大会のダーツ種目、べに花杯近隣市町ゲートボール大会をはじめ、各種駅伝大会（山形県縦断駅伝、山形県女子駅伝競走、西村山地区駅伝競走）について、感染症防止対策を図りながら開催できたことは大変良かったのではないのでしょうか。今後は、地域のコミュニティを保つため、環境整備という点からも様々な場を提供できるようにしてほしいと思います。

## 25 べに花関係大会開催事業

例年よりも参加チームを制限してのべに花杯卓球大会実施、べに花マラソン大会の中止は、大変残念であります。今後一日も早く本来の大会が盛大に開催できるよう期待しております。

河北町の花である紅花を冠する大会はとても重要であります。今後、べに花関係大会が盛大に開催できるようにしてほしいと思います。

## 26 体育施設事業

各体育施設の利用人数が前年度より増加したこと、町民体育館の床改修工事で、アリーナが一定期間使用できない状況にあったにも関わらず、利用者が増加したことは、

職員並びに事務局の並々ならぬ努力に対しまして、敬意を表したいと思ひます。

体育施設は、住民等への場所の提供と、住民サービスの一環であり、それぞれの体育施設において、施設の適切な維持管理と利用者の安全確保は、設置者の当然の義務であります。今後も引き続き、計画的な工事、修繕等を実施して、利用者の安全確保と利用促進並びに健康の保持増進に努めていただきたいと切に願っております。

## 27 スポーツ振興事業

全国大会以上の出場選手への激励金の支給については、感染症対策の緩和により各種大会が少しずつ開催されたこともあり、該当者が昨年から見ると大幅に増えたことは、喜ばしいことだと思ひます。また、垂れ幕掲示についてもカヌー競技はもちろん、他の競技の活躍もあり、昨年度より掲示本数が増え、出場選手を鼓舞できたことは、大変良かったと思ひます。

中学校運動部活動の振興事業は、河北町独自のもので、全国に誇れるものであり、保護者の経費節減にも寄与しているものと思われ、更なる活躍と飛躍を期待していません。中学校の部活動の在り方についての検討協議会を設置したことは、今後の部活動の将来像を模索するうえでも大変重要であり、活発な議論を展開していただきたと思ひます。中学生の意向を反映しつつ、適切な部活動が行えるよう検討を進めてほしいです。

## V 点検及び評価対象事業一覧

番号	事業名	担当課	評価	備考
1	地域と共にある高校教育への支援	学校教育課	継続	
2	教育相談の充実	学校教育課	継続	
3	健康・安全教育の推進	学校教育課	継続	
4	教育環境の整備	学校教育課	継続	
5	英語教育の強化	学校教育課	継続	
6	教育の質の向上	学校教育課	継続	
7	特別支援教育の充実	学校教育課	継続	
8	キャリア教育の推進	学校教育課	継続	
9	健やかな体の育成	学校教育課	継続	
10	農村環境改善施設事業	生涯学習課	継続	
11	社会教育総務事業	生涯学習課	継続	
12	学校・家庭・地域の連携協働推進事業	生涯学習課	継続	
13	公民館事業	生涯学習課	継続	
14	地区公民館事業	生涯学習課	継続	
15	図書館事業	生涯学習課	継続	
16	文化財事業	生涯学習課	継続	
17	サハトベに花管理事業	生涯学習課	継続	
18	サハトベに花文化事業	生涯学習課	継続	
19	芸術文化振興事業	生涯学習課	継続	
20	女性・青少年センター事業	生涯学習課	継続	
21	交流館遊戯事業	生涯学習課	継続	
22	保健体育総務事業	生涯学習課	継続	
23	体育指導・教室事業	生涯学習課	継続	
24	各種大会開催事業	生涯学習課	継続	
25	べに花関係大会開催事業	生涯学習課	継続	

番号	事業名	担当課	評価	備考
26	体育施設事業	生涯学習課	継続	
27	スポーツ振興事業	生涯学習課	継続	



# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	1 地域と共にある高校教育への支援	所管課・係	学校教育課 教育総務係
-----	-------------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る	予算科目	款	10	教育費
	○家庭・地域と連携する学校教育の推進		項	1	教育総務費
			目	1・2	教育委員会費、事務局費

## 2 事業の概要

事業目的	地域と共にある高校教育への支援
事業内容	(1) 奨学金制度の充実 (2) 教育環境の整備支援 (3) 地域と学校との連携強化

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	781	補正額等	0	合計	781	決算額	702
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

(1) 河北町育英会に対し、奨学金貸付の借入金利子等の補助金を交付した。
(2) 地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付した。

## 5 事業の評価

(1) 引き続き奨学金制度を運用し、保護者の学費負担軽減に努める。
(2) 町唯一の高等学校であり、地域に密着した学校づくりを進めていくため、地域に貢献する教育活動や土日祝日の通学バス運行経費等を支援していく必要がある。

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付し、引き続き支援していく。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	2 教育相談の充実
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	教育総務係

施策体系 〔教育振興 計 画〕	II 一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する ○個々の能力を伸ばす環境整備
-----------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費

## 2 事業の概要

事業目的	教育相談の充実
事業内容	(1) スクールカウンセラーの配置 (2) 教育相談活動の充実 (3) 適応指導教室の指導

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,873	補正額等	27	合計	2,900	決算額	2,900
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 小学校にスクールカウンセラー（公認心理師）を配置した。（中学校には県 SC が配置） (2) 教育相談員を配置して、不登校児童・生徒等への対応を行った。 (3) 適応指導教室（ゆうゆう教室）に指導員を配置し、児童生徒への指導を行った。
---

## 5 事業の評価

(1) スクールカウンセラーが継続配置されており、児童へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・援助等を行い、学校におけるカウンセリング機能の向上に努めた。 (2) 教育相談員は電話を中心とした教育相談のほか、学校や外部支援団体と連携を取りながら、別室、適応指導教室での児童生徒の支援や、家庭訪問の実施等も行った。 (3) 適応指導教室では、個に応じた対応等を行い、別室登校や学級復帰へ繋げた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教育相談業務、スクールカウンセラーの配置、適応指導教室の設置を継続して取り組んでいく。学校での児童生徒への対応を基本に、保護者との連携を一層密にする必要がある。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	3 健康・安全教育の推進
-----	--------------

所管課・係	学校教育課
	教育総務係

施策体系 〔教育振興計画〕	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○「いのちの教育」の推進 ○健やかな体の育成
------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	1・2・3	教育総務費、小学校費、中学校費
	目	1・2	事務局費、学校管理費

## 2 事業の概要

事業目的	健康・安全教育の推進
事業内容	(1) 「いのちの教育」の推進 (2) 課題に対応した健康教育の推進 (3) いじめ問題対策など (4) 安全教育の推進

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,247	補正額等	△50	合計	5,197	決算額	5,196
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 自他のいのちを大切に、自分の身を危険から守ることに重きを置いて「いのちの教育」に取り組んだ。 (2) 各校学校保健委員会を定期的に開催し、各校における課題を明らかにしながら、学校医等からの指導等を得て改善に取り組んだ。 (3) いじめ問題対策連絡協議会を開催し、特別支援教育の視点で、学校・家庭・地域におけるいじめ防止の取り組みについて情報を共有した。 (4) 地域の方々と共に、登下校時の安全確保の見守り活動とあわせ、地域学校安全指導員を配置し児童生徒の安全確保を図った。
--

## 5 事業の評価

(1) 自他のいのちを大切にする「いのちの教育」を推進することができた。 (2) 早寝早起き朝ごはんや、歯磨きの励行など、保護者と一緒に健康教育を推進することができた。 (3) いじめに対する理解を深め、地域、保護者と共に安全・安心な学校づくりを進める。 (4) 地域の方々の協力の下、登下校時の安全確保の見守り活動を行うと共に、地域学校安全指導員のパトロールにより安全を確保することができた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	健康・安全教育の推進は学校教育の基本であり、保護者や地域の方と連携しながら引き続き、安全・安心な学校づくりに努めていく。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	4 教育環境の整備
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	教育総務係

施策体系 〔教育振興 計 画〕	II一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する ○個々の能力を伸ばす環境整備
-----------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	1・2・3	教育総務費、小学校費、中学校費
	目	2・6	事務局費、ICT教育推進費、学校管理費、教育振興費
	目	1・2	費

## 2 事業の概要

事業目的	教育環境の整備
事業内容	子どもたちが学びやすい教育環境の構築

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	115,727	補正額等	6,077	合計	121,804	決算額	116,443
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

## 4 事業の実施状況

- (1) 谷地中部小学校食堂非構造部材耐震化工事（令和3年度繰越明許費）、西里小学校屋上防水改修工事、西里小学校及び溝延小学校受変電設備更新工事、谷地南部小学校防球ネット改修工事、北谷地小学校プールろ過装置更新工事、河北中学校長寿命化改修事前調査業務委託ほか
- (2) 1人1台のタブレット端末や電子黒板等のICT機器の運用等
- (3) 学校図書の本の整備及び充実等
- (4) ICT機器及び情報教育に関する専門的な知識と経験を有するICT支援員の配置

## 5 事業の評価

- (1) 安全・安心な施設環境の維持に努めた。
- (2) ICT支援員による教職員及び児童生徒への支援を行い、ICT機器、学習支援ソフト等の活用促進を図った。
- (3) 継続した図書の整備と充実を図った。
- (4) 文部科学省の「GIGAスクール構想」の実現に向けた学習環境の整備に努めた。

## 6 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後も学習活動において、積極的にICT機器を活用できるよう、引き続き環境整備の計画的実施に努めていく。また教育備品・学校図書の充実も継続的に取り組む。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	5 英語教育の強化	所管課・係	学校教育課 教育総務係
-----	-----------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	Ⅲ変化する社会に対応して、自立する力を育成する ○英語教育・英語学習の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	1・2	教育総務費、小学校費
			目	3・1	語学指導費、学校管理費

## 2 事業の概要

事業目的	英語教育の強化
事業内容	外部人材を活用した持続可能な英語教育・英語学習の推進

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	13,176	補正額等	24	合計	13,200	決算額	12,906
-------	--------	------	----	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

- (1) A L T事業の継続実施と共に、小学5・6年生の外国語教育の円滑な実施のため、英語指導支援員の配置を継続実施した。
- (2) 外国語活動推進事業として、幼児対象の英語教育を計画した。(新型コロナ感染拡大のため中止。)

## 5 事業の評価

- (1) 国際化社会に対応する人材育成等のための外国語活動サポートの継続実施と共に、今後も英語に係る小中学校の更なる連携を検討していく必要がある。
- (2) 外国語活動推進事業を実施し、これからの英語教育について調査及び検証するとともに、英語の普及活動につなげることができた。

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	持続可能な英語教育・英語学習を推進するため、英語指導支援員を配置し英語教育の充実を図る。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	6 教育の質の向上	所管課・係	学校教育課 教育総務係
-----	-----------	-------	----------------

施策体系 〔教育振興計画〕	II一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する ○個々の能力を伸ばす環境整備 ○教職員研修の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	1・2	教育総務費、小学校費
			目	2・4	教育研究所費、地域交流学習活動事業費

## 2 事業の概要

事業目的	教育の質の向上
事業内容	(1) 地域素材を生かした教育活動の充実 (2) 河北町教育研究所における研修の充実 (3) 学校経営の見直しによるOJTの充実と自主的な研修の支援

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	6,110	補正額等	△78	合計	6,032	決算額	5,371
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 各校学習テーマを設定し、地域の人や地域の歴史文化に関わる学習を実施した。 (2) 教育研究所(4研究部会、4専門部会)において、教育に関する専門的な研究・研修を主体的に実施した。 (3) 各校の授業研究会や研修会への参加を奨め、学校間交流を推進した。
---

## 5 事業の評価

(1) 「地域交流学習活動」事業を実施し、地域の方の協力を得ながら取り組むことができた。 (2) 主体的な研究・研修を実施し、新たな教育課題に対応する指導の向上を図ることができた。 (3) 他校の研究会、研修会に参加を進めたことにより、授業力の向上につながるとともに研修の機会の確保につながった。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教育課題の多様化・高度化に対応するため、実践的指導力をもった教職員の継続した育成を図る。地域とのつながりをより強化する「地域交流学習事業」を発展させると共に、教育研究所の機能強化を図る。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	7 特別支援教育の充実
-----	-------------

所管課・係	学校教育課
	教育総務係

施策体系 〔教育振興 計画〕	Ⅱ一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬく ための確かな学力を育成する ○特別支援教育の充実
----------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小学校費・中学校費
	目	1	学校管理費

## 2 事業の概要

事業目的	特別支援教育の充実
事業内容	(1) 特別支援教育の実践・検証 (2) 長期的視野に立った支援体制の整備 (3) 個に応じた指導・支援の充実 など

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	15,937	補正額等	294	合計	16,231	決算額	15,912
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

<p>(1) 各学校の特別支援教育コーディネーターによる連絡会を開いた。</p> <p>(2) 幼稚園や認定こども園と連携をとると共に、個に応じた指導や適正な就学につないだ。</p> <p>(3) 学級の中で、個別に支援が必要な児童生徒のニーズに対応するため、学校の必要性に応じて学習・生活指導補助員(小学校11人、中学校2人)の継続配置と研修を行った。</p>
---

## 5 事業の評価

<p>(1) 各発達段階に応じた、支援計画のあり方など、幼稚園や認定こども園と連携を進める。</p> <p>(2) 実情に応じ、継続して学習・生活指導補助員を配置する。</p>
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	個別に支援が必要な児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を推進するため、引き続きその環境整備に努める。更に保護者の理解を深める取組みを行っていく。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	8 キャリア教育の推進	所管課・係	学校教育課 教育総務係
-----	-------------	-------	----------------

施策体系 〔教育振興 計画〕	Ⅲ変化する社会に対応して、自立する力を育成する ○地域に根ざしたキャリア教育の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	3	中学校費
			目	2	地域交流学習活動事業費

## 2 事業の概要

事業目的	キャリア教育の推進
事業内容	(1) 中学校段階からのキャリア教育 (2) 就業体験の充実

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	500	補正額等	0	合計	500	決算額	298
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

(1) 地域交流学習活動事業に関連し、地域を知ることや、地域に縁のある方の講話を聞くなど、中学校段階でのキャリア教育に関する事業を行った。
(2) 1年生における職業講話、2年生における職業体験学習、3年生における修学旅行時の企業訪問を実施し、系統的に学習を進めた。

## 5 事業の評価

(1) 発達段階に応じて、様々な体験活動を実施ながら、キャリア教育を推進する。
(2) 中学校では、実際に体験することを通じて、先生以外の方から指導を受けることで、新鮮な学びを体験できた。

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	主体的に自己の進路を選択し、決定できるなど、社会人・職業人として自立していくための発達段階に応じたキャリア教育を引き続き推進する。



# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	9 健やかな体の育成
-----	------------

所管課・係	学校教育課
	学校給食センター

施策体系 (教育振興 計画)	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する
	○健やかな体の育成

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	4	給食センター費

## 2 事業の概要

事業目的	食育の推進、安全・安心な学校給食の提供
事業内容	(1) 食に関する指導の充実 (2) 地元産食材を積極的に活用し理解と関心を深める (3) 食の安全を推進するとともに給食センターの備品等の計画的な更新

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	155,561	補正額等	2,040	合計	157,601	決算額	154,579
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

## 4 事業の実施状況

<p>(1) 栄養教諭が給食時に各学校で食に関する指導や各学年にあった食育授業を計画的に実施した。</p> <p>(2) 学校給食だよりを発行し、メニューの掲載だけでなく、使用している地元産食材の紹介や季節の献立についても保護者へお知らせした。また、西里小学校では生産者との交流給食会を実施した。</p> <p>(3) 食の安全管理のため食材の理化学検査を実施した。</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染防止のため親子給食、バイキング・オードブル給食等を中止した。</p> <p>(5) 学校給食費保護者負担金の半額相当の支援を行った。</p>
--

## 5 事業の評価

<p>(1) 引き続き食育計画の推進と、栄養教諭による食に関する指導を実施した。新型コロナウイルス感染予防のため、校内放送を利用するなど工夫をして講話を実施することができた。</p> <p>(2) 生産者紹介用の掲示物を作成して、学校に掲示し、地元生産者との交流給食会を実施することで地元産食材への理解と関心を深めることができた。しかし、河北町産野菜等の入荷が減少したのもあり使用率が減少してしまった。</p> <p>(3) 食の安全確保のため継続的に各種食材検査を実施するとともに、調理現場での衛生管理の徹底を図る必要がある。衛生面はもちろん安全面からも計画的に施設・設備・備品等を更新していく必要がある。</p>
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	河北町の食育推進計画の重点目標にも取り組み、学校・家庭・地域と連携して児童生徒の望ましい食習慣の形成に努める。また、施設等の計画的な修繕・更新、安全な食材の使用など推進する。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	10 農村環境改善施設事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	---------------	-------	----------------

施策体系 (教育振興 計画)	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款	6	農林水産業費
			項	1	農業費
			目	6	農村環境改善施設費

## 2 事業の概要

事業目的	地区の中心的施設であるセンターの管理運営及び維持
事業内容	西里、溝延、北谷地の各センターの維持管理費

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	34,680	補正額等	1,939	合計	36,619	決算額	34,629
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

(1)	各センターの運営協議会開催	2回ずつ
(2)	利用者数と利用料金	
	・西里農村環境改善センター（西里地区公民館）	8,191人 325,046円 (前年度 6,636人 292,873円)
	・溝延研修センター（溝延地区公民館）	8,813人 481,728円 (前年度 9,001人 573,022円)
	・北谷地構造改善センター（北谷地地区公民館）	7,400人 366,429円 (前年度 6,781人 307,516円)
(3)	修繕、工事等	
	・3センター共通	焼却炉解体工事及び埋立基準に係る測定調査、特定建築物定期調査・定期調査報告書作成
	・西里農村環境改善センター	消防設備修繕、歩道ポール修繕、複合遊具修繕、外灯照明器具修繕、ホール照明交換、デジタル印刷機修理、鉄棒修繕、多目的ホール床等補修工事、駐車場埋設給水管張替え工事
	・溝延研修センター	ブラインド交換、防油堤水抜バルブ修繕、倉庫天井点検口修繕、運動場排水桝修繕、溝延多目的運動広場ネットフェンス解体工事、外灯及びホール棟ランプ交換
	・北谷地構造改善センター	消防設備修繕、タイマー交換修繕、玄関ポーチ柱塗装工事、事務室寒冷地エアコン改修工事、玄関ポーチ柱修繕工事
(4)	新型コロナウイルス感染予防対策	
	・手指消毒、体温測定、利用者の名簿記入、人数制限、貸館後の消毒作業を行い、利用者に各種ガイドラインに沿った利用をしていただいた。	

## 5 事業の評価

地域の活性化や地域住民の健康の増進等の施設として適切な管理運営、特定建築物定期調査を行い修繕箇所の確認と修繕に努めた。加えて新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者の安全に配慮し、利用制限を行った。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	経年劣化による要修繕箇所が目立つため、施設維持に必要な修繕や備品購入を引き続き行う。特定建築物定期調査の結果を踏まえ、大規模修繕は計画的に執行し、利用者の安全に配慮した施設運営を継続する。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	11 社会教育総務事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 〔教育振興計画〕	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進
------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

## 2 事業の概要

事業目的	地域住民が積極的に生涯教育活動に関わり地域の教育力を向上・地域の若者力の集結
事業内容	社会教育委員、社会教育推進員、青少年育成推進員、紅花いっぱい運動事業、ボランティアサークル、はたちのつどい

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,438	補正額等	△228	合計	4,210	決算額	3,956
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 社会教育委員	・委員会を開催し生涯学習事業全般について意見を求めた。		
(2) 社会教育推進員・青少年育成推進員	・NHKのど自慢、県美展巡回展、はたちのつどいの運営に協力した。合同研修会を実施した。		
(3) 少年教育・青年教育	・第34回爽やかサイクリング	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	
	・第32回子どものつどい	オンラインなわとび大会を開いた。参加者 23人	
	・べに花の種プレゼント	公共施設にべに花の種を置き、希望者に配布した。	
	・第41回最上紅花切花展	7月3日(日)に開催した。出展者 7人	
(4) ボランティアサークル	・中学生ボランティアサークル「ピエロちび」に9人が所属し、活動した。		
(5) はたちのつどい	1月8日(日)	会場 サハトべに花	対象186人 出席138人
	・成人年齢の引下げに伴い、従来の「成人式」を「はたちのつどい」に改め、20歳を迎える方々を対象に実行委員を募り、事業を委託した。当日の状況は、閲覧者を限定し動画配信した。		
(6) 各種団体への助成	・青年団、婦人会、子ども会育成会連絡協議会、青少年育成町民会議に助成した。		
(7) 社会教育主事講習派遣	・社会教育主事講習[B] e-ラーニング及び集合研修 1人派遣		
	期間	1月13日(金)～2月17日(金)	会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

## 5 事業の評価

社会教育委員、社会教育推進員・青少年育成推進員、関係団体などの協力のもと事業を実施した。また、はたちのつどいの企画は、会議(対面・リモート)で実行委員と事務局が相談しながら内容を決定し、次世代を担う青年リーダーの育成とスキルアップに努めた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	イベントについては、ニーズをとらえながら魅力ある内容となるよう適宜見直ししていく。はたちのつどい、ボランティアサークルの運営は、参加者と対話を行いながら、育成と充実感が醸成されるよう運営を図る。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	12 学校・家庭・地域の連携協働推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	----------------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○家庭・地域と連携する学校教育の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	1	社会教育総務費

## 2 事業の概要

事業目的	子どもの安全な遊び場の確保、体験学習を通しての仲間づくり
事業内容	地域学校協働活動、家庭教育支援活動、放課後子ども教室（子どもの居場所づくり事業）

## 3 予算額・決算額

（単位：千円）

当初予算額	2,264	補正額等	△522	合計	1,742	決算額	1,731
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 地域学校協働活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域学校協働本部に配置した統括コーディネーターと地域コーディネーターが連携し、各小中学校の要望把握とボランティアの人材確保に務め、学校・家庭・地域の連携・協働を推進した。</li> </ul>												
(2) 家庭教育支援活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>やまがた子育て講座 町内3小学校</li> <li>幼児共育ふれあい広場 町内1こども園、1子育て支援センター</li> </ul>												
(3) 放課後子ども教室（子どもの居場所づくり事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区の青少年育成町民会議役員が運営委員となり、学校及び放課後児童クラブの協力のもと、子ども同士の交流と居場所づくりに取り組んだ。6月から10月の夏休みを除く水曜日の放課後に、5講座（ビーズアクセサリ、昔語り、俳句、英語、キッズダンス）を実施した。</li> </ul> <p>なお、教室別の1回あたりの平均人数は以下のとおり。</p> <table border="0"> <tr> <td>西里</td> <td>17人（5日実施）</td> <td>溝延</td> <td>16人（5日実施）</td> <td>谷地中部</td> <td>26人（4日実施）</td> </tr> <tr> <td>谷地南部</td> <td>18人（5日実施）</td> <td>谷地西部</td> <td>12人（1日実施）</td> <td>北谷地</td> <td>3人（8日実施）</td> </tr> </table>	西里	17人（5日実施）	溝延	16人（5日実施）	谷地中部	26人（4日実施）	谷地南部	18人（5日実施）	谷地西部	12人（1日実施）	北谷地	3人（8日実施）
西里	17人（5日実施）	溝延	16人（5日実施）	谷地中部	26人（4日実施）								
谷地南部	18人（5日実施）	谷地西部	12人（1日実施）	北谷地	3人（8日実施）								

## 5 事業の評価

<p>地域学校協働活動は、統括コーディネーターと地域コーディネーターが連携し、充実した学校・家庭・地域の連携・協働を図ることができた。</p> <p>子どもの居場所づくり事業では、文化芸術活動、地域住民との交流が行われ、子どもたちの豊かな人間性を育むとともに、地域コミュニティの充実を図ることができた。</p>
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	統括コーディネーターを中心に町内各小学校の実態に合わせ、時期や内容の見直しを図り、地域、学校、学童クラブと連携し事業展開する。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	13 公民館事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	----------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る	予算科目	款	10	教育費
	○地域の教育力を高める活動の推進		項	4	社会教育費
	V地域に根ざした生涯学習社会を築く		目	2	公民館費
	○学び続けるための学習機会の充実				

## 2 事業の概要

事業目的	公民館活動や文化活動の活性化と文化活動への積極的参加の促進
事業内容	中央公民館事業、各分館活動支援、婦人文化教室支援、ひなカレッジ支援

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,727	補正額等	△1,162	合計	3,565	決算額	3,473
-------	-------	------	--------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 青少年講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・べに花かほく体験隊 11月20日(日) 県サイエンスインストラクターに登録されている講師を招き、5人の子どもたちが「段ボール空気砲」製作と、実際に打つ体験をした。</li> </ul>
(2) 婦人文化教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開級式、文化祭発表、移動学習、学級の活動等を支援した。</li> </ul>
(3) かほく町民大学ひなカレッジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19人の実行委員が中心となって、大講座、小講座、公開講座を開催した。 大講座 河野景子氏講演会 9月3日(土) 入場者291人 小講座 ころろ学、恋する歴史学、大人の部活動、女性の磨き学・べにばなラボ(合同開催) 受講生延べ156人 公開講座 かほくシネマ倶楽部 紅花の守人 5月3日(土) 1作品上映 入場者241人</li> </ul>
(4) 生涯学習講師派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習団体の支援ため、1件につき5,000円の謝礼を4件支払った。</li> </ul>
(5) 自治公民館(分館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館80館で連絡協議会を組織した。</li> <li>・総会及び大会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催した。</li> <li>・視察研修 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</li> </ul>
(6) 自治公民館整備への補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩之淵公民館(エアコン1台設置) ・新町公民館(エアコン2台設置)</li> </ul>

## 5 事業の評価

新型コロナウイルス感染症対策のため一部事業に中止、規模縮小の影響がでたものの、かほく町民大学ひなカレッジでは、小講座を1講座から受講できることとし、青少年講座では、県の制度を活用するなど、学習機会の拡大に努めた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、各生涯学習団体との連絡を密にし、学び手の学習意欲を把握するとともに、学びの場、学びの機会の提供と支援を継続する。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	14 地区公民館事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------	-------	----------------

施策体系 〔教育振興計画〕	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進 V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
目	2		公民館費		

## 2 事業の概要

事業目的	各地区公民館活動による、地域力の高まりと文化活動への積極的参加の促進
事業内容	各地区公民館の活動と運営

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,121	補正額等	△287	合計	834	決算額	741
-------	-------	------	------	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

(1) 文化教養講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化教室（西里） 7学級延べ95人</li> <li>・大昭大学（溝延） 90人</li> <li>・文芸学級（北谷地） 7学級延べ74人</li> <li>・婦人会各学級（溝延） 6学級延べ76人</li> <li>・あじさい学級（溝延） 29人</li> </ul>
(2) 学習講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しめ飾り作り（西里） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</li> <li>・小正月行事（溝延） 溝延小学校1・2年生 22人参加した。</li> <li>・ミニ門松づくり（北谷地） 北谷地小学校5年生 17人参加した。</li> <li>・小正月行事（北谷地） 北谷地小学校1・2年生18人参加した。</li> </ul>
(3) その他の講座等の開催、協力（各地区）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区公開講座 溝延、北谷地で1回ずつ実施、西里は中止した。</li> <li>・地区文化祭（北谷地、溝延） 作品展・菊花展（北谷地）のみ随時開催した。 （西里） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</li> <li>・新春を祝う会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</li> <li>・やすらぎのまちづくり事業での交流会（北谷地） 1回実施した。</li> <li>・ゲートボール大会（西里、北谷地） 輪投げ大会・スカットボール大会（北谷地） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</li> </ul>
(4) センターだよりの発行（各地区）	

## 5 事業の評価

館長、管理人、担当職員が連携し各種団体、地域、学校等の協力を得ながら事業に取り組んだ。溝延地区で、婦人会解散により婦人会各学級の代わりとなる新たな講座開設の準備をするなど、地区民の学習意欲を把握しながら、学習機会の確保に努めた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら各講座の運営を継続する。学習講座は、適宜、地区民との対話を行い、内容の充実に努めながら、学習機会を提供する。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	15 図書館事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○豊かな心の育成 V 地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	3	図書館費

## 2 事業の概要

事業目的	図書館の運営とサービスの充実
事業内容	指定管理者制度（R4～R8）の導入による施設運営、備品（蔵書）の計画的な購入

## 3 予算額・決算額

（単位：千円）

当初予算額	46,053	補正額等	537	合計	46,590	決算額	31,416
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

## 4 事業の実施状況

(1) 図書館の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者のNPO法人河北まちづくりネットワークひまわりが、図書館運営、移動図書館事業、おはなし会、ブックスタート事業、施設への配本などを実施した。</li> <li>（新規 町内こども園に移動図書館車巡回〈試行〉、3センターで大型活字本の配本と予約貸出）</li> </ul>
(2) 展示、講座等	テーマを設けて図書館資料の展示紹介、図書館資料を使ったイベント、講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>展示（特別展示を含む） 24回実施</li> <li>オリジナルバッグを作ろう（10月29日（土））</li> </ul>
(3) 図書館後援会	<ul style="list-style-type: none"> <li>趣旨の賛同者から寄付金（会費）を募り、大活字本、DVDを図書館に寄贈した。</li> <li>大活字本30冊、DVD10巻寄贈</li> </ul>
(4) 備品購入等	<ul style="list-style-type: none"> <li>安楽椅子張替修繕、移動図書館車制作（令和5年度繰越納品）</li> </ul>
(5) 新型コロナウイルス感染症予防対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>手指消毒、体温測定等、ガイドラインに沿った対策を実施した。</li> </ul>

## 5 事業の評価

利用者の多様なニーズに応える蔵書の配置や資料展示など読書啓発活動を行っている。また、新たな取組みを行うなどサービスの拡充を図るとともに、施設備品の修繕、移動図書館車の制作発注など環境整備に努めた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	利用者の多様なニーズに応える蔵書の配置や資料展示など読書啓発活動を継続する。また、新たな取組みを行うなどサービスの拡充を図るとともに、移動図書館車の更新など環境整備に努める。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	16 文化財事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	----------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○郷土愛を高める学習の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	4	文化財費

## 2 事業の概要

事業目的	地域の文化財の保護と資料整備 文化財愛護精神の啓発
事業内容	町文化財保護審議会の開催、町指定文化財の指定と保護、史跡説明板設置、町の歴史講座の開催、伝統文化等地域活性化事業、日本遺産事業の推進、試掘調査

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	3,473	補正額等	464	合計	3,937	決算額	3,430
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 文化財保護審議会 会議 3回 研修 庄内藩校致道館、庄内神社宝物殿、致道博物館（鶴岡市）
(2) 無形文化財の保護 ・ 既存収録ビデオの編集をした。（押切田植踊り、塩の渚赤松太鼓、根際子ども会「大黒舞・花笠踊」、高嶋子ども神輿、新吉田稲荷神社の獅子舞、北口地蔵講中のお念仏）
(3) 史跡説明板の設置・更新 設置 要害薬師堂 更新 梵字を刻んだ万年堂（中島）
(4) 指定文化財の保護 国指定無形民俗文化財「林家舞楽」の舞楽装束新調事業に助成した。
(5) 河北町の歴史講座 3回 実人数で80人参加（延べ150人参加）した。 ・ 第1回 歴史ある建物を活かす 12月11日（日） 64人参加 ・ 第2回 谷地凧について 1月15日（日） 36人参加 ・ 第3回 神社と最上紅花について 2月12日（日） 50人参加
(6) 山形ふるさと塾伝承活動への助成 ・ 子ども達に伝統文化等を伝える「山形ふるさと塾」に賛同する団体に助成した。
(7) 日本遺産「山寺が支えた紅花文化」（平成30年5月24日、文化庁認定）関連事業 ・ 「山寺と紅花」推進協議会事業の推進（紅花スタンプラリーへの協力等）
(8) 「かほく風土記」発刊事業 ・ 広報かほくに掲載した「かほく風土記」を再編、出版した。
(9) 埋蔵文化財包蔵地の登録 ・ 町内53か所目となる両所C遺跡を登録した。

## 5 事業の評価

文化財保護審議会の意見を尊重しながら文化財の保護に努めた。また、かほく風土記の出版、史跡説明板の設置・更新、文化財保護活動を行う団体への助成などにより、文化財保護精神の向上と活用を促すとともに、日本遺産「山寺と紅花」推進協議会と連携し、町指定文化財や紅花を活用した事業を行った。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き、文化財の保護と資料整備に努め、文化財保護と伝承、地域資源として文化財の活用に努める。日本遺産「山寺と紅花」推進協議会と連携したPR活動を継続し、地域の文化に触れる機会を提供する。



# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	17 サハトベに花管理事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	---------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	5	サハトベに花費

## 2 事業の概要

事業目的	サハトベに花の維持管理
事業内容	指定管理者制度（R3～R7）の導入による施設管理、計画的な維持修繕

## 3 予算額・決算額

（単位：千円）

当初予算額	247,670	補正額等	6,279	合計	253,949	決算額	243,881
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

## 4 事業の実施状況

(1) 河北町総合交流センターサハトベに花の運営
・ 指定管理者（株）河北町べに花の里振興公社
年間利用件数 1,811件（前年度 1,924件）
年間利用人数 80,378人（前年度95,123人）
(2) プラネタリウム等の上映
・ 平成27年7月にリニューアルオープンした全天周劇場でプラネタリウム等を上映した。
年間上映回数 367件（前年度 315件）
年間利用人数 5,762人（前年度 4,494人）
(3) 委託・工事等
・ 冷温水発生機等更新工事実施設計業務委託、長寿命化計画策定業務委託、図書館看板改修工事、自動ドア装置更新工事、車庫外壁及び屋根防水改修工事、舞台機構設備改修工事、舞台棟高圧ケーブル交換工事、空調設備改修工事
(4) 新型コロナウイルス感染予防対策
・ 手指消毒、体温測定、人数制限、貸館後の消毒作業を行い、利用者に各種ガイドラインに沿った利用をしていただいた。

## 5 事業の評価

ワクチン接種の待機時間を活かした河北美術クラブ展の開催、プラネタリウム新番組のリース導入など、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としての貸出を行いながら、事業の展開、施設の維持管理に努めた。特に大規模改修である舞台機構設備改修は早期発注をし、部品市場の混乱があっても年度内に完成できた。また、長寿命化計画を策定し、今後の計画的な修繕・改修を図ることができた。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	生涯学習の拠点施設として引き続き学びの場を提供できるよう、安全と利便性を考慮し、長寿命化計画に基づき、施設の修繕、設備機器の更新を図る。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	18 サハトベに花文化事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	V地域に根ざした生涯学習社会を築く
教育振興 計画	○生きがいを感じ、感動できる芸術文化活動の充実

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

## 2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化の意識向上
事業内容	サハトホール事業、プラネタリウム活用

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	3,381	補正額等	△1,141	合計	2,240	決算額	2,169
-------	-------	------	--------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) サハトホール事業
・「NHKのど自慢」
出演者：川中美幸、北山たけし、小田切千（NHKアナウンサー）
4月24日（日） 入場者366人
・堀米ゆず子さん河北町紅花資料館名誉館長委嘱式・ミニコンサート
出演者：堀米ゆず子（ヴァイオリン）、成田寛（ヴィオラ）、金子鈴太郎（チェロ）
荒木奏美（オーボエ）
7月3日（日） 入場者62人
・紅花資料館名誉館長 堀米ゆず子さんふれあい探訪ミニコンサート
7月4日（月） 北谷地小学校、谷地西部小学校児童対象
・宝くじまちの音楽会 岩崎宏美 with 宗次郎 ～心のふるさとを求めて～
出演者：岩崎宏美、宗次郎（オカリナ）、河北町混声合唱団
11月16日（水） 入場者738人
(2) プラネタリウム・天文講座
・中垣哲也「オーロラ上映&トークライブ」（株）べに花の里振興公社共催
10月22日（土） 入場数173人

## 5 事業の評価

新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなか、その時の状況に合わせた感染対策を行いつつ事業を実施した。また、多くの町民が参加し、一緒に芸術文化を楽しむことができるよう企画構成に努めた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町民のニーズに応える質の高い公演や時機を得た公演を計画し実行する。NHK事業・宝くじ助成事業等を活用し、町民が参加し芸術文化と触れ合う機会の提供に努める。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	19 芸術文化振興事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○豊かな心の育成 V 地域に根ざした生涯学習社会を築く ○生きがいを感じ、感動できる芸術文化活動の充実
--------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

## 2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化活動の活性化
事業内容	河北町芸術文化協会、県美展河北巡回展、べに花の里俳句大会等各種芸術文化団体への活動補助、サハトベに花展示室での展示事業の実施

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,401	補正額等	△366	合計	2,035	決算額	2,026
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) サハトベに花展示事業（一般貸館を除く。） 町内の各芸術文化団体等の協力を得て取り組んだ。 ・共催事業：河北美術クラブ作品展 ワクチン接種時随時開催 ・自主事業：あめ細工職人 槇登展 3月31日(金)～5月7日(日)
(2) 文化祭の開催 ・町芸術文化協会加盟12団体の展示・発表会など 10月4日(火)～12月11日(日) ・記念式典・舞台発表会 11月3日(木) 会場 サハトベに花 ・文化祭の反省会・研修会 2月21日(火)
(3) 各種芸術文化団体への助成 ・町芸術文化協会、県美展河北巡回展実行委員会、べに花の里俳句大会実行委員会、河北町小中学校芸術鑑賞教室実行委員会へ助成した。

## 5 事業の評価

町内の各芸術文化団体等と協議をしながら、発表会や展示事業を実施した。べに花の里俳句大会では、「谷地高の部」を高校の申入れで設けた。また、芸術文化協会の研修会では、芸術文化観光専門職大学の講師から、まちなかで芸術文化が活用されている事例を学び、芸術文化活動が広がるよう取り組んだ。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町内の芸術文化の盛り上がりには、町芸術文化協会加盟団体の活動と連携が重要であり、華道連盟による役場庁舎内活け花展示を例に、芸術文化の活用場を設ける取組みを継続する。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	20 女性・青少年センター事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	6	女性・青少年センター費

## 2 事業の概要

事業目的	青年層の活動の活性化
事業内容	女性・青少年センターの管理、運営

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	7,359	補正額等	△190	合計	7,169	決算額	6,942
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>1階プラザは適応指導教室「ゆうゆう」が令和3年8月から使用しており、2階は河北町青年団や県の学習支援事業が利用した。このほか、河北青年会議所の事務所として、施設の一部占用（有料）を許可した。</li> </ul>
(2) 工事修繕等	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋根塗装等工事、エアコン改修工事、1階ドア修繕</li> </ul>
(3) 管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>㈱河北町べに花の里振興公社に管理業務を委託した。 年間利用件数 60件（前年度 60件） 年間利用人数 381人（前年度 331人）</li> </ul>
(4) 新型コロナウイルス感染症予防対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>手指消毒、体温測定、利用者の名簿記入、人数制限、貸館後の消毒作業を行い、利用者に各種ガイドラインに沿った利用をしていただいた。</li> </ul>

## 5 事業の評価

<p>新型コロナウイルス感染症による団体の活動自粛などにより、利用人数は低調に推移している。利用者の利便性向上のため、既存の暖房設備の劣化を考慮し1階フロアにエアコンを設置したほか、屋根及び外壁の劣化が激しかったため改修をするなど、建物の計画的な維持管理及び修繕に努めた。</p>
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>施設の安全性、利便性を向上させるため計画的な修繕と維持管理を行うとともに、ボランティアサークル「ピエロちび」の活動拠点として利用するなど、施設の活用を図る。</p>

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	2 1 交流館遊戯事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	-------------	-------	----------------

施策体系 〔教育振興計画〕	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○郷土愛を高める学習の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	7	交流館遊戯費

## 2 事業の概要

事業目的	まちなか交流人口の拡大、青少年層への伝統文化の紹介、生涯学習活動及び生涯スポーツの活性化
事業内容	施設の維持管理、郷土資料館の展示、体験学習の実施、運動する機会の提供

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,351	補正額等	269	合計	5,620	決算額	5,460
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 利用人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内運動場 660件、4,413人(前年度678件、4,674人)</li> <li>・郷土資料館 250人(前年度113人)</li> </ul>
(2) 施設管理	・河北町シルバー人材センターに委託
(3) 施設修繕、工事	・屋内運動場ネット修繕、天井電気器具修繕、中庭街灯自動点滅器修繕、出入口部屋根雪止め取付
(4) 常設展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭り暮らし展示室…囲炉裏端と民具・農具の展示、囃子屋台の展示</li> <li>・匠の道具展示室…河北職業訓練協会より資料借用</li> <li>・来館者、小学生向け展示説明…河北町郷土資料館協力員</li> <li>・タッチパネルパソコンの設置・内容の更新</li> </ul>
(5) 東北文化の日	・東北6県と仙台市が行う「東北文化の日」(10月の最終土曜日とその翌日)推進事業に参加した。
(6) 新型コロナウイルス感染症予防対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手指消毒、体温測定、利用者の名簿記入、人数制限、貸館後の消毒作業を行い、利用者には各種ガイドラインに沿った利用をしていただいた。</li> </ul>

## 5 事業の評価

東北文化の日推進事業に参加し、参加施設等で配布されるガイドブックを通じて、民俗文化に触れる機会の提供と施設利用の促進、交流人口の拡大を図った。屋内運動場は、引き続き、各種スポーツで昼夜使用され盛況を維持している。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	開館後10年以上が経過しているため、施設の修繕など維持管理に留意する。伝統文化映像アーカイブスを再構築し、広く活用機会を提供するとともに、郷土資料館協力員を中心に地域に残る文化財、民俗資料の展示活用に努める。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	22 保健体育総務事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 〔教育振興計画〕	VI活力ある生涯スポーツを推進する ○生涯スポーツの推進と競技スポーツの充実 ○スポーツを通じた健康づくりの推進
------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1・3	保健体育総務費 スポーツ振興費

## 2 事業の概要

事業目的	町民総スポーツの推進
事業内容	地域における一層のスポーツの振興と一町民一スポーツの推進

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,325	補正額等	△86	合計	1,239	決算額	1,153
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

- スポーツ推進審議会を開催し、スポーツの推進に関する事項について調査及び審議を行った。
- 町スポーツ協会に補助金を交付し、スポーツ団体の育成及びびスポーツの振興を図った。また、本町スポーツの普及振興に功績のあった方、並びに競技成績が優秀である個人又は団体を、河北町スポーツ協会が表彰した。※令和4年度は、個人43人、団体3団体が殊勲賞を受賞（前年度 個人38人、団体1団体）
- 地域住民により運営される河北スポーツクラブに補助金を交付し、子どもから高齢者まで、それぞれの志向とレベルに合わせて気軽にスポーツに親しむことができる環境を整えた。
  - ・朝のストレッチ・ヨガ教室      ・ピラティス教室      ・ストレッチ・ヨガ教室      ・エンジョイ吹き矢教室
  - ・らくらくエアロビクス教室      ・キッズダンス教室      ・貯筋健康教室      ・骨盤ストレッチ教室
  - ・ブレックダンス教室      ・卓球教室      ・テニス教室
 ※令和4年度は、11教室、計359回のスポーツ教室を開催（前年度11教室、計345回）
- 町のスポーツ行事等の年間予定を掲載した「河北スポーツだより」の発行(全戸配布)をした。また、スポーツ全般の情報等を、町の広報や生涯学習課のホームページ、更には、河北町民体育館内に掲示し、情報発信に努めた。

## 5 事業の評価

河北スポーツクラブでは、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら様々な教室の運営に努め、幅広い年齢層の方々から参加をいただいた。自分の居場所やストレスの解消、仲間づくりなどスポーツを通して人とのかかわりが人生を豊かにするものであり貴重なスポーツクラブと評価している。

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、一町民一スポーツの推進に努め、町民が様々なスポーツに親しむことができる機会を提供する。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	23 体育指導・教室事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-----	--------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	VI活力ある生涯スポーツを推進する	予算科目	款	10	教育費
	○生涯スポーツの推進と競技スポーツの充実		項	5	保健体育費
	○スポーツを通じた健康づくりの推進		目	1・3	保健体育総務費 スポーツ振興費

## 2 事業の概要

事業目的	町スポーツ推進委員の社会体育事業への参画と青少年スポーツの振興
事業内容	町スポーツ推進委員の河北スポーツクラブへの指導、助言及び青少年スポーツの育成

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	200	補正額等	0	合計	200	決算額	200
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

<p>(1) スポーツ推進委員を委嘱し、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに町民に対するスポーツの実技の指導や助言を行うため、スポーツの推進に係る体制の整備を図った。</p> <p>(2) 第60回山形県スポーツ推進委員研究大会が西村山ブロックを中心に開催され、スポーツの振興やマネジメント等について見聞を広めた。</p> <p>① 開催期日 7月2日(土)</p> <p>② 参加方法 ズームを利用したオンライン方式</p> <p>(3) スポーツ少年団の育成に関する事業を行う経費に対して補助金を交付した。また、新型コロナウイルス感染拡大の中、単位団に消毒液を配付し、活動における感染防止の徹底を呼びかけた。</p>
--

## 5 事業の評価

4月7日より、新型コロナウイルス感染症の防止対策を徹底することを条件に、感染症によるスポーツ少年団活動の自粛や停止が解かれ、制度上、単位団の活動はコロナ禍前の状態に戻った。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	小さい時からスポーツに親しむことで心身とも良好で、いきいきとした生活ができることを広報しながら、地域にあったスポーツ少年団の育成に努める。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	24 各種大会開催事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-----	-------------	-------	----------------

施策体系 〔教育振興〕 計 画	VI活力ある生涯スポーツを推進する	予算科目 款 10 教育費 項 5 保健体育費 目 1 保健体育総務費
	○生涯スポーツの推進と競技スポーツの充実	

## 2 事業の概要

事業目的	区対抗関係大会を通しての、地域住民の世代間交流と長距離選手の育成強化
事業内容	各種大会を通して、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,577	補正額等	△1,840	合計	737	決算額	674
-------	-------	------	--------	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

(1) 第38回べに花杯近隣市町ゲートボール大会（7月13日・ひなの湯東公園） 12チーム（町内2チーム、町外10チーム）の参加により開催した。
(2) 第27回河北町区対抗総合スポーツ交流大会 ・輪投げ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・スカットボール 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・ダーツ 33チーム参加（11月27日・町民体育館） ※前年度は全種目、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
(3) 第66回山形県縦断駅伝競走大会（4月27日～29日・県内一円） 全11チームが出場する中、寒河江西村山チームは総合4位（一日目5位、二日目2位、三日目6位）の成績であった。
(4) 第38回山形県女子駅伝競走大会（11月20日・山形市周辺） 全11チームが出場する中、寒河江西村山チームは6位の成績であった。
(5) 第68回西村山地区駅伝競走大会（11月13日・西村山管内一円） 本町から2チームが参加し、結果は9チーム中Aチームが2位の成績となり、Bチームがオープン参加のため順位はつかなかった。

## 5 事業の評価

新型コロナウイルス感染症について、不織布マスクの着用徹底や体調管理チェックシートの記入・提出など感染防止対策を徹底したうえで、本事業で予定していた大会をほとんど実施することができた。
---

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、参加者が安全に楽しいひと時を過ごせる大会を模索し運営に努める。



# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	25 べに花関係大会開催事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-----	----------------	-------	----------------

施策体系 〔教育振興 計画〕	VI活力ある生涯スポーツを推進する	予算科目	款	10	教育費
	○生涯スポーツの推進と競技スポーツの充実		項	5	保健体育費
			目	1	保健体育総務費

## 2 事業の概要

事業目的	べに花文化の意識の高揚
事業内容	べに花関係大会を通して、スポーツの振興と町の活性化

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,450	補正額等	△1,000	合計	450	決算額	450
-------	-------	------	--------	----	-----	-----	-----

## 4 事業の実施状況

(1) 第35回べに花杯卓球大会
① 開催期日 3月18日(土)・19日(日)
② 開催場所 河北町民体育館
③ 参加チーム ・小学男子団体の部 10チーム ・小学女子団体の部 7チーム ・中学男子団体の部 16チーム ・中学女子団体の部 13チーム
(2) 第41回べに花マラソン大会
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

## 5 事業の評価

町内だけではなく、町外さらに県外からも参加者が多数見込める諸大会であるため、各々の開催時期と同時期の新型コロナウイルス感染症の流行状況により、実施の有無を慎重に判断した。その中で、流行が比較的緩んだ時期の開催となったべに花杯卓球大会のみ、実施することができた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、競技会場や大会の特性等により、安全な大会の開催方法について検討していく。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	26 体育施設事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-----	-----------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	VI活力ある生涯スポーツを推進する	予算科目	款	10	教育費
	○生涯スポーツの推進と競技スポーツの充実		項	5	保健体育費
			目	2	体育施設費

## 2 事業の概要

事業目的	体育施設の適正な維持管理
事業内容	指定管理者制度を導入し、(株)河北町べに花の里振興公社に管理及び運営を委託し、河北町体育施設の適正な維持管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努める。

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	147,423	補正額等	7,111	合計	154,534	決算額	154,114
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

## 4 事業の実施状況

(1) 体育施設の管理運営について、(株)河北町べに花の里振興公社に指定管理を行い、施設の利用促進と住民サービスの向上に努めた。

① 河北町民体育館	利用者数	37,850人	(前年度 32,165人)
② カン・スポーツランド 河北野球場	利用者数	3,710人	(前年度 3,568人)
③ カン・スポーツランド 河北テニスコート	利用者数	7,035人	(前年度 4,858人)
④ 町民プール	利用者数	25,684人	(前年度 22,044人)
⑤ 河北町野球場	利用者数	235人	(前年度 357人)
⑥ 遊戯屋内運動場	利用者数	4,413人	(前年度 4,674人)

(2) 修繕工事等 以下の通り工事を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。

① 河北町民体育館	アリーナ床改修工事、太陽光発電システム蓄電池交換工事、ボイラー用オイルギアポンプ交換工事、消防設備修繕
② カン・スポーツランド 河北	照明交換修繕
③ 河北町民プール	太陽光温水器修繕、ろ過装置修繕、窓オペレーター修繕

## 5 事業の評価

体育施設の目的である競技スポーツや生涯スポーツ等が安全で安心して利用でき、また、多くの人に親しんでいただけるよう、引き続き施設の維持管理に努めたい。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	計画的に施設の修繕、設備の更新を図る。

# 事務事業点検及び評価調書

## 1 事業名等

事業名	27 スポーツ振興事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-----	-------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	VI活力ある生涯スポーツを推進する	予算科目	款	10	教育費
	○生涯スポーツの推進と競技スポーツの充実		項	5	保健体育費
			目	1・3	保健体育総務費 スポーツ振興費

## 2 事業の概要

事業目的	中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
事業内容	各種スポーツ大会出場激励金、垂れ幕掲示 河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金の交付

## 3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,500	補正額等	△1,160	合計	4,340	決算額	3,770
-------	-------	------	--------	----	-------	-----	-------

## 4 事業の実施状況

(1) 各種大会支援
① スポーツ競技会で予選会を勝ち抜き、全国大会へ出場した選手に激励金を支給し、競技スポーツの振興を図った。また、全国規模の競技スポーツ大会に出場し、優れた成果を挙げ、本町のスポーツ振興及び発展に寄与した個人または団体名を垂れ幕で町民体育館に掲示し、広く町民に周知した。 ・激励金支給者 小学生12人、中学生12人、高校生19人、一般2人、合計45人(前年度27人) ・垂れ幕掲示本数 世界的規模0本、全国的規模20本 合計20本(前年度12本)
(2) 中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
① 河北中学校のスポーツを振興するため、強化練習会や遠征、選手派遣、研修会、講習会等の選手育成強化事業を行う経費に対して補助金を交付し、河北中学校運動部活動の更なる競技力向上に努めた。
② 日常生活に定着したスポーツ活動を振興するため、町スポーツ協会に補助金を交付し、各種目連盟が行う大会や強化練習会などの事業を支援した。
③ 中学校の部活動について、休日の望ましい活動環境の構築と教員の働き方改革の両立を目指し、1月31日に、「河北町中学校における休日の部活動の地域移行に関する検討協議会」を設置した。

## 5 事業の評価

河北町スポーツ選手育成強化事業補助金や河北町生涯スポーツ振興事業補助金は各種事業に有効に活用されており、競技力向上に一役買っている。また、より若い世代が、スポーツ等への健全な興味・嗜好のもち方を育むために、中学校の部活動に注目し、その環境の整理について取り組み始めた。
--

## 6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	激励金支給・垂れ幕掲示はスポーツ選手の励みになるため、引き続き支援を継続する。				